様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	福岡市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人福岡市医師会

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	第１看護学科	夜・通信	７０単位	９単位	
	第２看護学科	夜・通信	７０単位	６単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	福岡市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人福岡市医師会

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	運営会議では次の事項を協議するものとする。 (1)学校の諸規程に関すること (2)教育方針･教育計画･教育内容に関すること (3)学校の人事の基準に関すること (4)学生･生徒の定員･入学･退学･休学･転学･転入学･復学及び進級･卒業認定に関すること (5)学校の予算･決算に関すること (6)その他学校の運営･管理に関し重要と認める事項 学校運営の円滑化および適正化を図るため活用している。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
福岡市医師会　会長 医療機関理事長	令和６年６月 15 日～令和 8 年度開催の定例代議議員会終結時まで	
福岡市医師会　専務理事 医療機関理事長	令和６年６月 15 日～令和 8 年度開催の定例代議議員会終結時まで	
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人福岡市医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 新年度４月にシラバスを提示し、全学年に対し学科ガイダンスを実施している。シラバスには科目のねらいや目的及び到達目標、学習内容、成績評価、使用教材などを明記している。 臨地実習においては、実習要項を作成し実習目的、目標及び方法、評価等を明記し、対象学生に配布しオリエンテーションを実施している。 令和４年の第５次カリキュラム改正を受けて、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン別表３および別表３－２の看護師教育の基本的考え方に基づき作成したシラバスを基本としている。 作成過程は、 ①科目の学習の目的及び到達目標を設定する。 ②基礎分野、専門分野に関しては教員会議にて検討し、内容に関しては講師の意見を取り入れる。 ③専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野（新カリキュラムにおいては専門分野）に関しては専門領域担当職員が中心となって協議し、会議で共有する。 ④カリキュラム評価および教科書の改訂などを踏まえ、シラバスを修正する。 ⑤使用テキストは基本的に学校で決定している。参考図書もシラバスで紹介し、図書室で閲覧できるよう環境を整えている。	
授業計画書の公表方法	https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各科目、授業時間数の 2/3 以上出席した者を評価対象とし、評価においては全て 100 点を満点とし 60 点以上に対し単位を認定している。60 点未満の者に対し、1 回限り再試験を実施し、60 点以上の者に単位を認めている。また、試験を欠席した者には追試験を実施し、得点の 8 割を評価の対象としている。 成績は優（100～80 点）良（79～70 点）可（69～60 点）不可（59 点以下）で表示している。履修や成績等に関しては、学則第３章第９条～第１４条及び履修課程に明示した学生便覧を配付している。 評価は課題レポート、ポストテスト、授業態度（演習への取り組み）など総合して評価している。また、臨地実習においては、評価基準を定め、ルーブリックを用いて評価している。 既修得単位を持っている学生は内容等を照合し、単位認定している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績は、優（100～80 点）良（79～70 点）可（69～60 点）不可（59 点以下）で評価し、科目毎に最高値･平均･最低値を公表している。新カリキュラムにおいては、学生に科目ごとに成績結果表を学生に渡し、達成度を可視化し提示している。 個人成績票に総合成績のクラス順位を提示し、3 月に学生及び保護者に渡している。 実習においては学習目標の到達度および実習態度をＡ～Ｄの４段階で評価し、評価結果は学生に評価表のコピーを渡し、必要時は個別に説明している。 科目の成績分布を確認し、偏りがないか評価し、運用している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	シラバス（冊子） https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 第１看護学科は新カリキュラム１０４単位、第２看護学科は新カリキュラムは７０単位全て修得している事を条件にしている。 卒業にあたっては卒業認定会議を開催し、講師の意見も反映している。 全て修得した単位を記載した成績表を学生及び保護者に渡している。 卒業資格は、「学則第９条の別表にある単位をすべて修得していること」について、科目の評価、単位の認定、卒業に関する規程の第１８条に明記している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	福岡市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人福岡市医師会

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校受付にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	看護専門課程	第１看護学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	新カリキュラム １０４ 単位時間／単位	81 単位時間／単位	0 単位時間／単位	23 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			１０４単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240 人	190 人	0 人	12 人	1 人	13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）新カリキュラム

〈該当学生〉１年・２年・３年

〈授業方法･内容〉

授業は、対面による講義及び演習、臨地における実習など方法で実施している。

専門職連携教育の導入、C-ラーニングや動画視聴など ICT を活用した主体的な学習（アクティブラーニング）を導く内容としている。また、臨地実習においても、地域・在宅を視野に入れた地域住民の健康支援など様々な場で実習できる環境を整備している。具体的内容については、シラバス参照。

〈年間計画〉

１年次：講義、技術演習、基礎看護学実習Ⅰ（1 月）
基礎分野　12 単位／274 時間、専門基礎分野 18 単位／468 時間
専門分野　14 単位／364 時間

２年次：講義、技術演習、基礎看護学実習Ⅱ・地域・在宅看護論実習Ⅰ・領域横断実習（8 月～10 月）、領域別実習（2 月～3 月）
基礎分野 1 単位／16 時間、専門基礎分野　2 単位／60 時間
専門分野　26 単位／750 時間

３年次：講義、技術演習、領域別実習（5 月～7 月、10 月～11 月）
基礎分野　1 単位/30 時間、専門基礎分野　2 単位/46 時間
専門分野　5 単位/136 時間

成績評価の基準・方法
（概要） 成績は各科目、授業時間数の 2/3 以上出席した者を評価対象とし、評価においては全て 100 点を満点とし 60 点以上に対し単位を認定している。60 点未満の者に対し、1 回限り再試験を実施し、60 点以上の者に単位を認めている。また、試験を欠席した者には追試験を実施し、得点の 8 割を評価の対象としている。 成績は優（100～80 点）良（79～70 点）可（69～60 点）不可（59 点以下）で表示している。単位修得証明書に優（100～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）で表示している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則９条に定める授業科目で別表３にあるすべての単位、１０４単位（新カリキュラム）を修得していること。 全ての領域実習、統合実習の単位取得していること。 〈卒業〉 上記の条件を満たした者は、講師会議および運営会議の議を経て学校長が卒業を認定する。 〈進級〉 新カリキュラム ・１年次→２年　基礎看護学実習Ⅰの単位取得 ※基礎看護学実習Ⅰの要件： ①解剖生理学ⅠⅡⅢⅣⅤ、病態生理学、疾病と治療ⅠⅡⅢⅣ、微生物学の科目の内、未取得が３単位未満 ②基礎看護技術ⅠⅡⅢⅣ、基礎看護技術総論、フィジカルアセスメントに合格 ・２年次→３年 ①解剖生理学ⅠⅡⅢⅣⅤ、病態生理学、疾病と治療ⅠⅡⅢⅣⅤ、微生物学のすべての単位を取得 ②看護過程、基礎看護学技術Ⅱの単位を取得 ③領域横断、地域・在宅看護論、精神看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学の単位取得をもって当該科目の臨地実習に進むことができる。 ・３年次 ①すべての科目の単位が履修できていることで卒業できる。
学修支援等
（概要） 学年担当制で、教員が学習面や生活面の相談に応じている。また、保護者への連絡と協力依頼を行い、共同して学生の支援にあたっている。臨地実習では学生５～１０人に対して教員１名が担当し学習を支援している。メンタルケアが必要な学生にはスクールカウンセラーとともに支援に当たっている。また、奨学金についてもサポート体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 （100%）	0 人 （　　0%）	65 人 （　　94.2%）	4 人 （　　5.7%）
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 求人情報の公開や就職相談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験の受験資格、保健師・助産師学校の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
217 人	15 人	6.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる相談室の設置		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	看護専門課程	第２看護学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	夜	新カリキュラム ７０ 単位時間／単位	54 単位時間／単位	0 単位時間／単位	16 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			70 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	112 人	0 人	7 人	1 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）新カリキュラム

基礎分野８単位１９６時間、専門基礎分野１５単位３７９時間、専門分野３１単位８７０時間、臨地実習１６単位６９０時間計７０単位２，１３７時間で構成。１年、２年の前期までは学内にて講義・演習・実技を学び、２年後期には初めての臨地実習である基礎実習、その後３年前期７月末まで各領域実習・統合実習を計画している。すべての実習が終了した３年後期は、主に看護の統合と実践の講義、演習、実技等を学ぶ。学内は、１日４時間（９０分の講義を２つ）臨地実習は１日７．５時間（１時間は６０分）の週３０時間で計画している。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績は 100 点満点中 60 点以上で合格とする。59 点以下の学生については履修規程に則り、１度だけ再試験を実施する。60 点以上が合格としその場合の評価得点は 60 点としている。成績の評価は講義においては講義責任者が評価まで行う。実習に関しては評価基準に則り、評価を行う。専門領域の実習においては臨地実習指導者の評価も成績に反映する。実習においては指導要録には、優(100～80 点)、良(79～70)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）新カリキュラム

卒業は７０単位全て取得していることが条件。卒業認定の講師会議を実施。２年次後期の基礎実習の履修要件は、未修得科目が３教科以内であること、専門分野及び看護の統合と実践実習は基礎看護実習の単位を修得していることが履修要件。

学修支援等

（概要）

学年担当制で、学習面および生活面において相談に応じている。臨地実習では学生５～１０人に対して教員１名が担当し支援している。メンタルケアが必要な学生にはスクールカウンセラーとともに支援に当たる。また、奨学金についてもサポート体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （ 0%）	27 人 （ 87.0%）	4 人 （ 12.9%）
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 求人情報の公開や就職相談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験の受験資格、保健師・助産師学校の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	4 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる相談室の設置		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
第１看護学科	300,000 円	540,000 円	620,000 円	
第２看護学科	260,000 円	420,000 円	380,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
第２看護学科 その他 380,000 円内訳 ・教育充実費 120,000 円 ・教科書代 170,000 円 ・施設費 80,000 円 ・教材費 10,000 円				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
下記の学校関係者評価委員により構成される。任期は２年間。 学校自己点検･自己評価結果を元に評価を行い、教育活動や学校運営といった項目について評価を実施し、学生募集や入試、地域連携、業界で求められる知識や技術等のカリキュラムへの反映･改善、就職支援や経営改善等に活用していく。 主な評価項目は、教育課程や学校生活への支援等。評価委員会の構成は、医療関係者（実習先病院等）、学校関係者、教育・研究者関係者等。評価結果を踏まえた改善方策の実施時期は翌年度４月～12 月頃行う。なお、責任者は、副校長とする。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
医療関係者	令和６年４月１日～ 令和８年３月 31 日	看護部長
学校関係者･医療関係者	〃	本校卒業生･看護部長
学校関係者	〃	元高等学校校長

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kango/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/